

功労者表彰式開催（2022年度授賞）

2023年6月30日に東京サンケイプラザ(大手町)にて、「2023年度第1回加盟団体代表委員総会」を対面形式により開催いたしました。全国から多くの代表委員の皆様にお集まりいただき、会議終了後の懇親会では、意見・情報交換が行われ、大変有意義な時間を過ごしました。

JVA 功労者表彰式につきましては、新型コロナウイルス感染状況を鑑みて、誠に残念ながら全体での開催を見送らせていただきましたが、各推薦加盟団体にて表彰伝達を頂きました。

授賞者の皆様の長年のバレーボール界におけるご活躍に感謝申し上げますとともに、その素晴らしいご功績の一端をここでご紹介いたします。

【表彰授賞者一覧】（以下敬称略）

表彰名	授賞者名	推薦団体
功労者Ⅱ	渋谷 研一	北海道バレーボール協会
	遠藤 健三	宮城県バレーボール協会
	山本 督次	群馬県バレーボール協会
	山岸 英一	千葉県バレーボール協会
	福光 義明	富山県バレーボール協会
	森 啓彰	(一社)静岡県バレーボール協会
	橋本 泰幸	
	白木 明	岐阜県バレーボール協会
	新野 幹雄	京都府バレーボール協会
	龍神 秀夫	和歌山県バレーボール協会
	榎本 敏一	(一財)兵庫県バレーボール協会
	溝渕 涉	
大島 孝文	徳島県バレーボール協会	

※なお、2022年度につきましては、功労者Ⅰの推薦はございませんでした。

【表彰授賞者のお写真】

推薦加盟団体の皆様のご協力のもと、授賞者様のお写真提出をいただきましたので別紙の通り、掲載いたします。

【表彰授賞者のご紹介】

功労者Ⅱ表彰

○渋谷 研一（しぶや けんいち） 北海道バレーボール協会

【授賞理由】

23年の永きにわたり、北海道バレーボール協会の要職や全国ブロック理事長会の役職を兼任されました。現在も副会長の立場で、幅広いカテゴリーの選手、指導者及び役員等の育成を通じてバレーボールの普及発展に尽力されております。また、江別バレーボール協会の運営にも携わり、地域バレーボールの発展のため、積極的に取り組まれているほか、ワールドカップ・世界選手権・ワールドグランプリといった国際大会の招致に力を注ぎ、大会運営面の要として活躍され大会を成功裏に導くなど、これらの活動に献身的に取り組む姿勢は、後進の範となるものであります。

○遠藤 健三（えんどう けんぞう） 宮城県バレーボール協会

【授賞理由】

宮城県バレーボール協会の主要役員として永年尽力され、国内大会やワールドカップ・世界選手権を始めとする国際大会の運営にあたるなど、宮城県バレーボール界の普及・発展と生涯スポーツ推進に寄与されました。また、国際審判員としても内外ともに活躍されました。現在では、Vリーグ女子チームのリガーレ仙台の代表理事を務め、バレーボールを通じて地域・ファン・選手を結び、熱い情熱を持って地域に愛されるチーム運営を行っており、地域の活性化とすべての県民が楽しめるバレーボールのエンターテインメントを提供されております。

○山本 督次（やまもと とくじ） 群馬県バレーボール協会

【授賞理由】

1986年より小学生チームのコーチとして指導され、その後、監督として現在に至るまで小学生の指導に携わるなど永きにわたり小学生バレーボールの充実と発展並びに競技力向上のために第一線で活躍されております。また、小学生プレーヤーや若手指導者の育成や他のカテゴリーとの連携を深めるため、群馬県小学生連盟の会長として、また、県協会の常任理事・副理事長としてもバレーボール界の普及・発展に貢献されております。

○山岸 英一（やまぎし えいいち） 千葉県バレーボール協会

【授賞理由】

永年にわたり、千葉県バレーボール協会及び千葉県高体連役員として、バレーボールの指導並びに普及・振興に尽力されました。高校の指導者として、関東大会への出場や全国大会に出場するなど、数多くの実績を残されております。また役員としても、高体連の副委員長としてインターハイを成功に導かれたこと、千葉県協会では14年間理事長として活躍され、国体の成功や各種大会運営など県協会の組織基盤整備を行うとともに後輩の育成に貢献されました。

○福光 義明（ふくみつ よしあき） 富山県バレーボール協会

【授賞理由】

1990年に富山県バレーボール協会理事として、今日まで34年にわたり、協会組織の拡充と事務局体制の構築に携わられ、本県におけるバレーボール競技の普及・発展に貢献されております。また、A級審判員として多くの全国大会に派遣され、県内においても全国大会出場をかけた試合の主審を数多く担当されました。1990年～1995年度の3期6年間は富山県バレーボール協会の審判委員長を務められ、審判員への指導や講習会・研修会での講師を務めるなど後進の育成にも励精されました。

○森 啓彰（もり ひろあき） （一社）静岡県バレーボール協会

【授賞理由】

1997年～2014年までの18年間、静岡県バレーボール協会の強化委員長として、静岡県のバレーボールの競技力向上に寄与されました。県の強化の柱であるトレセン事業や選抜チームでの国体参加の基盤を作り、「国体チームとしての強化」と同時に「キャリアを通じた選手としての成長」という強化の2本柱を打ち立てました。一貫した強化方針により、国体での経験をもとに日本代表で活躍する数多くの選手を輩出されました。

○橋本 泰幸（はしもと やすゆき） （一社）静岡県バレーボール協会

【授賞理由】

2007年より東海バレーボール連盟のブロック競技委員長として、16年間と永きにわたって、東海地区の主要大会運営や国内大会運営に携わられました。それ以前の1993年より14年間は、静岡県バレーボール協会の競技委員長として活躍され、特に在任期間中に浜松で行われた男子世界選手権・ワールドカップ男女大会の開催では競技運営部長として、また2003年開催の第58回静岡国体においても統括競技委員長として運営の中核として携わり、いずれの大会も大成功に導いております。

橋本泰幸氏は2023年7月28日にご逝去されました。バレーボール界への多くの功績を讃えるとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

○白木 明（しらき あきら） 岐阜県バレーボール協会

【授賞理由】

永きにわたり、岐阜県バレーボール協会の理事・副会長として、協会全体を取り纏めるとともに、若手役員の育成に取り組み、協会発展に貢献されました。また、チームドクターとして国内大会に帯同され、第45回福岡国体は3位、第48回東四国国体では4位入賞に貢献されました。また、JVAにおいては日本代表チームの帯同ドクターとして活躍されました。中・高校生を始め、成年の選手育成からJOCカップ岐阜県代表の選手や、Vリーグ所属「JAぎふリオレーナ」の選手などの健康管理など、現在に至るまでご尽力をいただいております。近年においても、成年女子・少年男子が国体で入賞できるようになったのは、白木氏の支援と成果の賜物でございます。

白木明氏は2023年5月16日にご逝去されました。バレーボール界への多くの功績を讃えるとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

○新野 幹雄（しんの みきお） 京都府バレーボール協会

【授賞理由】

永年にわたり、京都府バレーボール協会、京都府高等学校体育連盟バレーボール専門部の要職を歴任され、組織の運営と発展に深く寄与・貢献されるとともに、洛南高等学校の指導者としても同校を全国屈指の強豪チームの指導にあたり、多くの日本代表選手を発掘育成されました。また、京都府バレーボール協会強化委員会役員としても中心的な役割を果たされ、国民体育大会の少年男子・成年男子京都府代表チームの育成に深くかわられました。第45回福岡国体出場はもとより、入賞にも寄与・貢献されております。

○龍神 秀夫（りゅうじん ひでお） 和歌山県バレーボール協会

【授賞理由】

大学を卒業後、和歌山県日高地方の高校教師に赴任されるとともに、バレーボール部の指導、和歌山県国体教員チームの一員として奮励され、1971年開催の第26回和歌山国体、教員の部で見事優勝されました。また、定年されるまでの38年間は男女問わず監督として指導・普及や育成に尽力されており、1990・1991年と連続で和歌山県女子チームの代表として、全国高等学校バレーボール選抜優勝大会へ出場されました。定年後も県協会の日高地方支部長、県協会常任理事として、2015年の第70回和歌山国体で、バレーボール競技のセンターとして大会成功を支えられ、現在も同役職で変わらずご活躍いただいております。

○榎本 敏一（ますもと としかず） （一財）兵庫県バレーボール協会

【授賞理由】

1991 年より兵庫県バレーボール協会理事に就任後、強化委員長、副理事長、副会長を歴任され、現在は参与を務めておられます。役職就任期間は今年の 3 月末で 32 年間となり、永きにわたり、バレーボールの普及・発展に尽力されました。ビーチバレーボール創成期より、ぴあカップなどの大会役員に名を連ね大会運営を行い、V2 男子の V リーグ西脇大会の誘致に自治体と協力し、大会開催に至りました。兵庫県大学バレーボール連盟の会長に就任されてからは、連盟の活性化に尽力され、多方面での責務を果たしておられます。

○溝渕 渉（みぞぶち わたる） （一財）兵庫県バレーボール協会

【授賞理由】

1989 年より兵庫県バレーボール協会理事に就任後、常任理事・顧問を歴任され、現在では評議員を務めておられます。役員就任期間は今年の 3 月末で 34 年間となり、永きにわたり、競技の普及・発展そして、後進の育成に尽力されております。特筆すべきは、高校女子バレーボールの指導で、県立志知高校在任中の 1979 年、県立三原高校在任中の 1992 年に春高・総体・国体に出場されました。また 1996 年には、第 52 回大阪国体の少年女子監督として出場し、準優勝という成績を収めました。ビーチバレーボールの様々な大会誘致にも携わり、その功績は大きいものがあります。

○大島 孝文（おおしま たかふみ） 徳島県バレーボール協会

【授賞理由】

徳島県小学生連盟で永年にわたり大きく貢献され、現在連盟の会長として活躍中であり、徳島県バレーボール協会においても常務理事・副理事長・参与を務め、県協会に貢献されております。その証として県協会・県体育協会から功労者表彰を授与されております。永きにわたり、小学生バレーボールの指導にも携わり、情熱的でわかりやすい指導で多くの選手を育成されてきました。また運営スタッフとしても永年尽力されております。この功績に多くの協会員が感謝し、現在もなお、参与の立場から、徳島県バレーボールの普及・強化に多大なる力を発揮しております。

以上

発行：公益財団法人日本バレーボール協会 発行人：業務執行理事 事務局長 村上成司
E-mail：generalaffairs@jva.or.jp